

プログラム名	
園庭や校庭で楽しむネイチャーゲーム	
プログラムの概要・ねらい	
ネイチャーゲームは、わたしたちが持っている感覚のうち「見る・聞く・触る・匂う」など五感の一部を使って自然を直接体験するプログラムです。幼児や小学生にとって身近な園庭や校庭など、いつも見ているようで気づかなかった自然を、ネイチャーゲームの手法を使って興味や関心を持ってもらえるような活動を提案します。自然物に直接触れたり感じる体験によって、子どもたちの感性や好奇心の扉が開き、その後に学ぶ理科学習へとつながるような機会になることを願っています。	
プログラムの分野	
☐ 地球温暖化防止・エネルギー ☐ ごみ・3R ☒ 自然 ☐ 生き物 ☐ 大気 ☐ 水 ☐ その他	
プログラムの対象者	
☒ 幼稚園等(☒ 3 歳児 ☒ 4 歳児 ☒ 5 歳児) ☒ 小学校 1,2 年 ☒ 小学校 3,4 年 ☒ 小学校 5,6 年 ☐ 中学校 ☐ 特別支援学校(☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☐ 知的障害 ☐ 肢体不自由 ☐ 病弱)	
対象人数(1回に実施可能な人数)	
1～3クラス程度	
実施場所	所要時間
・園庭や校庭(雨天時はホール・体育館) ・親子遠足など希望の公園、現地で実施可	※幼稚園等については、原則1時間まで 1クラスあたり 45 分～1時間
プログラムの実施に必要な準備物	
学校、園で準備が必要なもの	準備物の必要なし。 3クラス以上など人数が多くなる時は、クラスごとの入れ替え制で実施可能。
団地で準備するもの	ネイチャーゲームのグッズや必要な消耗品
プログラム実施に伴う安全上の注意事項、リスクの対処法 ※雨天時の対応など	
◎応急手当の準備をしておく。 ◎天候急変時の実施の可否について、依頼団体と相談の上、延期や中止を含めて日程の再調整を行う。 ◎依頼団体との打ち合わせを丁寧に行い、当日立ち入れない場所の有無、自然物に触れてかぶれたり、トゲのある植物、毒性の物がないかリスクの共有をしておく。 ◎天候や気温に応じて休息や水分補給を心がけ、参加対象者の体調に充分配慮する	

【プログラムの進め方】

	学習内容・活動	写真
導入	※子どもたちの興味や関心、心の動き、季節や天候に合わせてプログラムを随時変更する場合がある。 ※自然物のクラフト作りも提案可能。 ＜熱意をよびおこす活動＞ 約10分 ねらい：心と体を目覚めさせる。 仲間を見つけて集まるなどアイスブレイク的な活動を導入する。動物の生態や特徴についてヒントを聞き、その生き物を推理する。幼児は絵本や生き物のカードを用いる。	
展開	＜感覚をとぎすます活動＞ 約20分 ねらい：自分の持っている感覚を使い、園庭や校庭の木々や花壇の草など、いつも見ているようで気づいていなかった自然を発見する。自分と友だちの感覚の違いに気づき、その違いを受容する。	
確認	＜自然を直接体験する活動＞ 約20分 ねらい：視覚や聴覚の感覚を使い、日常であまり意識していない自分の感覚を使い、自然との一体感を感じる体験をする。年齢によっては目かくしの活動もある。 ＜ふりかえり＞ 約10分 体験や感じたことをふりかえり、仲間とわかちあう。体験の内容によっては、そのつど仲間と感じた内容を共有し、グループで共有して話し合ったことを発表する時間を持つ。	  

【プログラムのアピールポイント】

このプログラムは季節、場所を選ぶことなくいつでもどこでも実施できます。園庭や校庭の隅にある雑草がある場所こそが自然の姿だと思います。いつも見ているようで気づけていなかった小さな自然への気づきを大切に、子どもたちの発見を指導者が受けとめることによって子どもたち一人ひとりの心が満たされ、安心できる大切な時間となります。